

保育内容演習・表現	1年 前期	演習1単位	担当教員名	石 森 小 緒 里
	卒選 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ: 幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示される領域「表現」について理解する。 ② 目 標 <ul style="list-style-type: none"> ・領域「表現」が意味するねらいと内容について理解する。 ・乳幼児の生活の中で育まれる「表現」について理解する。 ・ごっこ遊びや劇あそび等の演習を通して、表現の可能性と課題について学習する。 				
授業の概要 保育者を志す学生にとって、表現の学びは、自身が「表現者として成長するための学び」と「幼児の表現を育むための学び」に繋がるものでなければならない。人は、表現しながら生き、人が生きていることが表現そのものである。子どもも大人も常にモノや誰か（人）との関係の中に生きながら、その関係が表現の形をつくっていく。表現を育てることはその関係を育てることでもある。授業の中では、幼稚園教育要領及び保育所保育指針における領域「表現」の位置づけについて触れながら、学習を深めていく。				

コマ(回)	項 目	内 容	
1	表現とは	・子どもの育ちと表現 ・幼少期の思い出	
2	幼稚園・保育所における表現	・幼児教育の歴史 ・表現の種類	
3	表現遊び	・「ごっこ遊び」や「なりきり遊び」の大切さ	
4		・絵本から広がる表現の可能性	
5		・グループ演習(絵本の世界を体感するしかけ作り)	
6			
7		・グループ発表	
8		課題(物語、音楽等)からの表現	・テーマと表現方法についての考察
9			・グループ編成→創作活動
10	※各グループごとに分担し、最終目標としてはクラス全体で子どもと一緒に取り組める活動(プログラム)に仕上げる。		
11			
12			
13			
14	・発表会(幼稚園)		
15	表現を育む保育者の姿勢	・子どもの発達と援助の仕方 ・これまでの活動を振り返って	
定期試験	実施しない		
テキスト	保育の表現技術 実践ワーク/今井真理 編著/保育出版社		
参考図書	ナツメ社 絵本から広がるあそび大集合 /石井光恵・甲斐聖子 著		
教員の 評価方法	授業態度(20%)、レポート(30%)、制作した作品実技発表(50%)を総合的に評価する。		
準備学習等 履修上の留意点	・課題発表、レポート提出に向けて事前準備をしっかり行うこと。		